



ICTを活用するアクティブラーニングの拠点、英語学習の場 追手門学院小学校新東館(メディアラボ)起工式

追手門学院小学校(大阪府中央区、校長:東田充司)は、「主体的・対話的で深い学び」が主眼の一つである2020年度の新学習指導要領の全面実施をみすえ、ICTを活用するアクティブラーニングの拠点となる新東館(メディアラボ)を建設します。

これを受けて3月10日に小学校において起工式を行い、当日は本学院関係者などおよそ90人が出席し、建設工事の安全を祈願します。

新東館(メディアラボ)は地上3階地下1階建てで、1階はピロティ構造による屋内運動スペース、2階と3階は床面の一部の高さを変えた部分を持たせるスキップフロア構造です。2.5階に約2万冊を収蔵する図書スペースを設け、2階は図書スペースに連続させる形でプレゼンテーションなどアクティブラーニングを实践する場とします。3階は英語学習の場であるイングリッシュゾーンです。また、2階と3階にはフューチャーラボという大スクリーンと電子黒板を備えた学習空間をそれぞれ設け、映像を用いたダイナミックな体験学習の場とします。

更に地下2階には従来は非公開であった400年前の豊臣時代の大阪城の石垣遺構を展示する「おうてもん石垣ギャラリー」を設けます。歴史学習に活用するほか、見学窓を設け地上の歩道から一般の方も見学できるようにします。こうした施設を活用し、2020年度に全面実施される新学習指導要領に盛り込まれる「主体的・対話的で深い学び」を推進していきます。

追手門学院小学校は、学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長:川原俊明)の起源となる学校であり、本年が創立130年の節目の年です。学校法人追手門学院では創立130周年記念事業の一環として大阪府茨木市において追手門学院大学の一部と追手門学院中・高等学校の全てを移転する新キャンパス整備を進めているところです。追手門学院小学校新東館(メディアラボ)も新キャンパス整備と歩調を合わせ、2019年4月からの使用を予定しています。

【ポイント】

- 2019年4月スタートに向け追手門学院小学校新東館(メディアラボ)の起工式を開催
- 2020年度の新学習指導要領の全面実施をみすえたアクティブラーニングの拠点
- 地下2階には豊臣大阪城の石垣遺構を展示する「おうてもん石垣ギャラリー」も

【起工式】

日 時: 2018年3月10日(土) 13時から(1時間程度)
会 場: 追手門学院小学校(大阪府中央区大手前1-3-20)

※起工式の取材や写真データを希望される場合は、別途送付しますので広報課(電話072-641-9590)へ問い合わせください。

この資料の配付先: 大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立

【追手門学院小学校新東館(メディアラボ)】



東側からの外観（写真左が大阪城方面）

丸で囲んだ窓から地下2階の「おうてもん石垣ギャラリー」の豊臣大坂城石垣遺構を見学できる。



南側からの外観

【追手門学院小学校新東館(メディアラボ)概要】

住 所：大阪府中央区大手前 1-3-20

建物構造：鉄骨造(一部 RC 造、SRC 造)、地上 3 階・地下 1 階

建築面積：1,317.25 m²

延床面積：4,046.77 m²

建物高さ：19.97m

竣工予定：2019 年 3 月。供用開始 2019 年 4 月

1 階はピロティ構造

・「屋内運動スペース」

2 階と 3 階は床面の一部の高さを変えた部分を持たせるスキップフロア構造

・ 2 階はプレゼンテーションなどアクティブラーニングを実践する「アクティブスペース」

・ 2.5 階は約 2 万冊を収蔵する図書スペース「ライブラリー」。2 階との一体運用が可能。

・ 3 階は英語学習の場であるイングリッシュゾーン。

2 階と 3 階にはフューチャーラボを設置。

大スクリーンと電子黒板を備えた学習空間をそれぞれ設け、映像を用いたダイナミックな体験学習の場。



1 階：屋内運動スペース



2 階：アクティブスペース



2.5 階：ライブラリー



2・3 階のフューチャーラボ